

からだのことをよく知る活動の例

大きくなったかな

子どもたちの目でわかるような身体計測結果の知らせ方の工夫をする。
・成長記録「こんなに大きくなったよ」の作成

からだのこともっと知りたいな

○子どもたちの生活や遊びから、からだについての関心が深まるような工夫をする。
・からだに関する絵本や紙芝居の読み聞かせ
・からだのことを、みんなと話そう

プログラム2

自分で気がつき 自分でやれたね

みつけたよ

自分でできること

保育者から促すのではなく、子ども自身が必要を感じ、自分でできることが身につくように、遊びや環境を考える。
・からだに関するペープサート(1)
パネルシアター(2)で遊ぶ。

1：絵人形劇のこと。登場人物などを描いた紙を、棒の両側から貼り合わせた人形を用いる。

2：布を張った無地のパネルに、不織布(ふしよくふ)でつくった絵(人形や小道具など)を着脱させながら、話や歌を聞かせる芝居のこと。

プログラム1

たんじょうび うれしいな

一人ひとりの誕生をみんな で喜び合おう

誕生児へ...友だちからのメッセージ(大好きなところを伝える)やプレゼントおうちの人からのメッセージ(今までのエピソード)や赤ちゃんの時の写真公開
私の絵本作り

からだにももし

子どもたちが安心して検診を受けられるようにする。
・歯科検診、内科検診
・栄養士さんの話を聞く
・歯科衛生士の歯磨き指導

食べることは力の元

食べることが楽しいと思える活動や雰囲気づくりを大切ににする。
・親子給食試食会
・食育活動(健康推進委員)
・クッキング活動

見直そう 自分の生活

家庭においても生活習慣が見直せるように、園行事の参加やカード点検などを行う。
・歯垢染め出し剤による歯磨き点検
・わくわく点検カード
・親子で生活表の見直し

自分のからだ とっても大切

・自分で自分のことができる喜びや心地よさ、満足感を感じる。
・一人ひとりの生きる力として、基本的な生活習慣を身につけ、自立していく。